

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績1

事業者	団体名	愛・やすらぎ川柳 実行委員会	代表者	大寺 龍雄
	団体の主な活動	愛・やすらぎ川柳を企画運営する。		
	助成事業名	愛・やすらぎ川柳事業		
	事業目的	鳥取県の花である二十世紀梨の花言葉「愛」をテーマにした川柳を全国に募集し、あおや和紙工房を会場として川柳作品を展示することにより、県特産品である二十世紀梨や伝統工芸品である因州和紙のPRをするとともに青谷町の交流人口を拡大させ、地域振興を図る。		
事業内容	 <div style="text-align: center; margin-top: -10px;">和紙の短冊の飾り付け</div>  <div style="text-align: center; margin-top: -10px;">表彰</div> 			
事業内容	実施場所	あおや和紙工房	実施日	作品募集 4/1~6/20 表彰式 7/26 作品展示 7/26~8/30
	対象者	全国の川柳愛好家、 鳥取県民	参加人数	作品応募者 2077人 展示観覧者 2156人
事業実施による効果	全国から作品が応募されており、来館者からは感嘆の声が多かった。また、ジュニアの部では、短詩の創作や「愛、やすらぎ」について考えるなど、学習的な要素も強く、県内外の小中学校から協力を得ることができ、少ながらぬ教育的效果をもたらすことができた。			
	今後の活動の展望	次年度以降も事業がより拡大するよう、第1回と第2回の経験を生かし、地域住民や川柳関係者、ボランティアの方などと協働して地域づくりを実施していきたい。		
費用	総事業費	271, 720円	助成金額	200, 000円

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績2

事業者	団体名	○日和(えんびより)	代表者	田村 賢治
	団体の主な活動	①「因幡の祭典 砂像フェスティバル」「日本の祭り 温ステージ・一斉踊り」へ一般市民が参加できる環境を提供した(参加予定のしゃんしゃん祭り2日目が雨天中止のため) ②児童・医療・福祉施設等への慰問を実施 ③とっとり街中砂像イベントへの参加		
事業内容	助成事業名	僕らが未来の子供たちのために出来ること		
	事業目的	ふるさと鳥取を平和で笑顔あふれる場所とし、未来の子どもたちへ繋げることを目的とする。		
	事業の内容	とっとり街中砂像イベント  日本のまつりにて  砂像フェスティバルにて  		
	実施場所	鳥取市内各所	実施日	H21年4月～H22年2月末
	対象者	不特定多数の鳥取市民	参加人数	学生・社会人50人 児童10名
	事業実施による効果	初めてしゃんしゃんの傘を持ったという市民が今回を機に「傘踊り」、鳥取市の主催する「イベント」に関心を持ってくれた。また、派手な活動だけではなく、慰問活動や清掃活動等地域に貢献しようとする気持ちも芽生え活動が広がった。		
	今後の活動の展望	鳥取市が主催する祭り・イベントへ積極的な参加をし、市民または市外県外の方との交流をつくる。		
費用	総事業費	190, 241円	助成金額	100, 000円

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績3

事業者	団体名	科学遊び広場	代表者	足利 裕人	
	団体の主な活動	・子供科学教室(1995年から公民館、わらべ館で月1回程度実施) ・サイエンスカフェ鳥取(2007年度 カフェ・ソースにて4回開催)			
	助成事業名	科学力を高めるファミリー科学教室			
	事業目的	子供が本来持っている自然への興味に学びながら、保護者や高齢者が子供の疑問や要求にこたえながら家庭の科学力を高め、安全で快適な科学の恩恵を受けることができる社会をめざす。			
事業内容	事業の内容	クリスタル・テレフォン 電スピーカーをコップに貼った、電池のいらない電話機をつくろう			
					
		空中に浮く影 *写真が浮き上がる様子を偏光メガネで見よう*			
					
	実施場所	青谷地区公民館 わらべ館イベントホール 賀露地区公民館	実施日	青谷地区公民館:6/27, 12/5 わらべ館:9/6,H22/2/6 賀露地区公民館:10/11	
	対象者	年少・小学生とその保護者や高齢者	参加人数	124人	
	事業実施による効果	子供達が生まれつき備えている本来の能力に注目することにより、保護者や高齢者が失ってきた感性を再認識し、自然のしくみや法則に触れ、生活の中での科学の重要性に気付いたり、科学の必要性を感じたりするようになった。 簡単な科学工作や実験を通じ、子供達とふれあい、助け合い、教え合いながら、現在の理科離れの原因に気付き、成長段階に応じた科学的素養や態度の育成に、保護者や高齢者が効果的にかかわっていく方策を考える一助になった。			
	今後の活動の展望	祖父母の参加は思うように集まらず、保護者の参加が多かった。鳥取市でのこのような活動が少ないので、継続してやって欲しいとの要望がたくさん寄せられた。科学に興味を持ち、理科離れに危機感を抱く保護者も多く、継続した活動を行う予定である。			
費用	総事業費	130,000円	助成金額	100,000円	

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績4

事業者	団体名	河合谷高原開墾地の森林復元を考える会 代表者 作野 友康		
	団体の主な活動	平成20年(2008年)11月設立委員会 平成21年2月7日(土)「河合谷高原の森林復元を考えるミニ・シンポジウム」(於 放送大学講義室)を開催		
事業内容	助成事業名	河合谷高原の森林と自然を学ぶ公開講座		
	事業目的	鳥取県東部の森林や河川と河合谷高原の現況との関係を、学術経験者および地域の関係者に聞く。森林と人間生活の関係について、また、森林に生息する動物とブナなど樹木が共生する森林のあり方等を検討する。そして、開墾地の森林復元について検討する。		
	事業の内容	  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> シンポジウム「河合谷高原の森林復元を考える」(平成21年12月12日) </div>		
	実施場所	さざんか会館 大会議室	実施日	2009年12月12日(土)
	対象者	森林復元に関心の深い一般市民と会員	参加人数	61人
事業実施による効果	森林復元に関心を持ち、また森林復元に努力を行っている個人、グループと交流の場を持ち、先進地の貴重な体験を聞き、その情報を会場に参集された市民と共有することができた。今回の公開講座を契機に、当会の位置づけを学習・研究的活動からフィールドでの復元活動に事業を拡大するという方向を明確に出来た。			
今後の活動の展望	会の活動を「考える」に加え「活動する」ことにも拡大し、名称の変更等を行い、組織と事業を拡大する方向を検討する。			
費用	総事業費	46,616円	助成金額	37,000円

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績5

事業者	団体名	子育てサポートすくすくクラブ	代表者	山口 朝子
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサークル開催 ・小中学生と赤ちゃんふれあい事業 ・一時保育 ・イベント 		
	助成事業名	 子育て中の保護者への託児つき癒しの講座開催  『子育てホッとセミナー』		
	事業目的	<p>子育て中の保護者(概ね母親、祖母)が平日に外出することが少なく、閉塞感とストレスを感じている方が多い。その方たちへの癒しとなり、子育てへの活力の一助になると想る。</p> <p>また、事業を通して親睦を図り、その後の交流へのきっかけとなる。</p>		
事業内容	事業の内容	  <p align="right">癒しのアロマストレッチ 抱っこで凝りがちな肩をほぐす ストレッチで心身共にリフレッシュ</p> <div style="border: 1px dashed yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;">  ベビーマッサージ&サイン </div> <div style="border: 1px dashed orange; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;">  </div> <div style="border: 1px dashed pink; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p align="right">託児</p>  </div>		
	実施場所	鳥取市福祉文化会館の和室、託児室	実施日	平成21年9月4,7,14日
	対象者	乳幼児の保護者と子ども	参加人数	各回20組40人で 全60組120人
事業実施による効果	<p>乳幼児期の子どもを家庭で養育している保護者は引きこもりがちとなっていることが多く、子どもにとっても親にとつてもその弊害は大きいと危惧していた。</p> <p>託児のしっかりとしたシステムで安心して当イベントに参加できたことで、肩こりや頭痛といった不定愁訴を感じる方への『癒し』にもなり、子育てへの活力につながり、親子関係もより良いものとなった。</p> <p>アンケートを実施したところ『参加して良かった』『子どもと離れて自分の』時間をもて勉強出来たことが良かった』『託児を専門の保育士にしてもらうことで、その後に適切なアドバイスをもらえて大変良かった』等、賞賛の意見を多くいただいた。</p>			
	今後の活動の展望	<p>参加希望者が多数あったが、会場、人員の都合上、人数を制限せざるをえなかつた。今後もこの様なイベントの実施を考えていく。</p>		
費用	総事業費	152,312円	助成金額	100,000円

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績6

事業者	団体名	山王さん周辺活性化協議会 代表者 竹内 房男		
	団体の主な活動	毎月1回、定例会を設け主旨に添い、自然環境と歴史を守る為に活動する。 ～主な活動～ ・観光スポットの清掃および観光コース等の保守管理 ・案内板等看板設置 等々		
事業内容	助成事業名	山王さん古墳前広場に東屋(休憩・展望用)設置		
	事業目的	因幡の守護所・山名氏の城跡を多くの人に知って頂き、歴史的価値を後世に伝える。		
	事業の内容	   		
	実施場所	山王さん古墳前広場 (鳥取市布勢)	実施日	H21年9月30日着手 H22年3月30日完了
	対象者	会員相互で実施	参加人数	18人(延べ60人役)
	事業実施による効果	鳥取市よりの各種助成により 2007年より荒廃した広場の造成し、繁茂した木の伐採等と安全策の設置、 2008年お花畑公園駐車場と現地に案内板を設け、 2009年東屋が設置でき地域より大変喜ばれている。 一連の事業が終了したが今後は維持管理を住民がやっていきたい。新聞等に紹介され多くの来訪者に喜んで頂けると思う。		
	今後の活動の展望	地域の方、施設の方が来訪されても、木陰がほしい、雨やどりしたい等の声があり期待に答えられ良かった。 私達の会が地域の活性化や地域活動のリーダー的役割を担うように今後も会員で努力したいと考える。		
費用	総事業費	303, 952円	助成金額	200, 000円

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績7

事業者	団体名	多言語国際交流サポート TIA	代表者	寺杣 すみれ
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市報ダイジェスト版(英・中国語)記事作成 ・国際交流イベントの実施 ・母子健診、学校行事などの通訳サポート ・日本語指導などニーズに応じた生活サポート 		
	助成事業名	在住外国人と子供たちとの交流イベント		
	事業目的	鳥取県東部地区に住む子供たちと在住外国人の子供たち、その保護者の方々が地域、校区を越えた触れ合いの中からコミュニケーションの大切さと国際理解を深めること。		
事業内容	<p style="text-align: center;">世界を知ろう！</p> <h3 style="color: red; text-align: center;">ふれあいテント村 2009</h3>   <p>1. 世界各国料理や飲み物を各ブースで紹介</p>  <p>2. 歴史・文化・料理の作り方をその国の言語で説明</p>   <p>3. それぞれの国で言葉クイズや工作などを披露</p>  <p>4. 最後に全員で歌とクイズ</p>  <p>5. 7カ国全部廻れた人にはスタンプラリーの景品を渡す</p>			
	実施場所	鳥取ガスショールーム サルーテ	実施日	平成21年10月4日(日)
	対象者	小学生及び就学前児童、その保護者	参加人数	170人
事業実施による効果	<p>昨年も同様のイベントを行い100名近い参加者があり好評を得た。今年は7カ国のブースを設け各國の文化や伝統料理を紹介した。昨年より更にグレードアップし、会場に入りきれない人で埋め尽くされ、特にフードコーナーは作り方のレシピを求められた。</p> <p>子供達のみならず鳥取に住む外国の方々と市民が触れ合う場を提供するのも私達の大切な役割とイベントの意義を再認識した。</p>			
今後の活動の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの国際理解の芽生え ・在住外国人と鳥取市民との触れ合い ・異文化や外国語に触れコミュニケーションの楽しさを味わう 			
費用	総事業費	134, 907円	助成金額	100, 000円

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績8

事業者	団体名	特定非営利活動法人 鳥取環境市民会議	代表者	土井 優子
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会及び出前説明会・フォーラム開催による学習啓発活動 ・「雨」をテーマとする環境問題とまちづくりの取り組み ・クリーンアップ活動 		
	助成事業名	学習啓発事業		
	事業目的	環境問題とまちづくりに関する講演会・行政の出前説明会・視察・小学校や公民館での環境学習等を開催することにより、会員と一般市民及び子ども達の意識を高めて、地域の生活環境と地球環境の保全に努め、地域の活性化にも寄与することを目的とする。		
事業内容	事業の内容	 <p align="right">2月 6日 「昔の湖山池の姿」 講演会</p>  <p align="center">3月 18日 「鳥取県のゴミ問題について」 出前説明会</p> 		
	実施場所	鳥取県東部	実施日	6/17、6/28、7/14、11/7、 12/3、2/6、3/7、3/18
	対象者	当会会員と一般市民	参加人数	219名
事業実施による効果	ゴミ問題に関するイベントの参加者は毎回同じような顔ぶれとなるが、講演会に関しては初めての参加者も多かった。特に「昔の湖山池の姿」は、公民館の広報に掲載され、会場も湖山西地区公民館であったため、多くの方にご参加頂き好評であった。「コケのまち鳥取」は特異な分野であったため、参加人数は少なかったが、新たな人の参加を得ることができた。			
	<p>このように、他のイベントで取り上げられていないテーマや地元に深い関わりのあるテーマで、地元で開催することがより多くの人々の学びたい要求を満たすことに繋がることが分かった。</p> <p>ゴミ問題に関しては、一年を通じて取り組んできたので、学びを深め問題の本質に迫ることが可能となった。</p>			
今後の活動の展望	今年度はゴミ問題に焦点を絞り、効率よく深く学び、日々の実践活動に結びつけることが出来たので、今後もテーマを設定し取り組んでみたい。また、公民館の活用が広報宣伝費の節約や参加者の増加に繋がったので、今後もこの方法を取り入れて、会員と一般市民に環境の保全とまちづくりに関する学習啓発の場を提供し、学びを活動の原動力として社会に貢献していきたい。			
費用	総事業費	71, 163円	助成金額	49, 000円

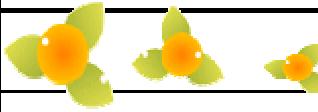
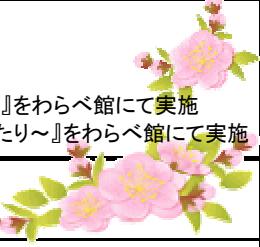
平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績9

事業者	団体名	特定非営利活動法人 とっとりフィルムコミッショ	代表者	清水 増夫			
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・映画やテレビドラマとのロケ誘致及び支援 ・映画上映: 第12回とっとり映画祭、第39回映画を観る会、高齢者対象出前上映会 					
	助成事業名		第12回とっとり映画祭～小谷承靖監督特集				
	事業目的	<p>近年、映画等のロケ地がメディアを通して紹介され、地域活性化につながることが認識されるようになった。映画祭では、映像の創り手である小谷承靖映画監督や女優2名をゲストに迎え、小谷監督作品の上映や、地域での映画支援、制作協力にこだわり、地域を見つめ直すために開催した。</p>					
	事業の内容	 <div style="background-color: #e0f2ff; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p align="center">第12回とっとり映画祭～小谷承靖監督特集</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">  <p>小谷承靖監督と女優・田村奈巳さん、今井夢子さんをゲストに映画上映やトークショーを開催</p> </div> <div style="text-align: right; margin: 10px auto; width: fit-content;">  </div>					
事業内容				～参加者に好評で中身の濃い映画祭になりました～			
	実施場所	鳥取市文化センター 多目的ホール	実施日	平成21年9月23日(水)			
	対象者	一般市民	参加人数	147人			
	事業実施による効果	<p>午前に上映した「極底船ポーラーボーラ」は、昨年、東京国際映画祭で出品された倉吉市出身の小谷承靖監督のアメリカ映画。いち早く、鳥取で鑑賞できたことは大きな収穫である。午後に上映された「俺の空だぜ！若大将」は小谷監督の監督デビュー作。小谷監督の原点と言える作品を鑑賞できたことは意義があった。続いて行われたパネルディスカッションでは、小谷監督の全てについて、いろいろな角度から話し合い、鳥取県出身の映画監督を顕彰した。「映画祭」では、多彩なイベントプログラムを組み、映画を通して文化の活性化を図った。</p>					
	今後の活動の展望	検討中					
費用	総事業費	614, 608円	助成金額	100, 000円			

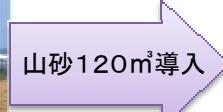
平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績10

事業者	団体名	鳥取おやこ劇場	代表者	三木 文子			
	団体の主な活動	・年5回の鑑賞例会(プロによる音楽、演劇、人形劇など生の舞台作品) ・キャンプ(夏・秋) ・講演会(汐見俊幸氏、北島尚志氏など) ・バザー ・機関紙年5回発行					
事業内容	助成事業名	 カードゲーム、ボードゲーム普及事業					
	事業目的	電子ゲーム、インターネット、メールに夢中になる子どもたちに、人と人とのコミュニケーションや、駆け引きが重要となるカードゲーム、ボードゲームの楽しさを知ってもらいたい。また、遊びは作れるということを体験してもらいたい。					
事業内容	事業の内容	   					
	実施場所	①みんなの居場所 ポット ②鳥取ガスショールーム 「サルーテ」会議室	実施日	①7/30「ボードゲーム体験会」 8/3子ども企画会議 「ボードゲームを作ってみよう」 ②10/9「ボードゲームを作ってみよう」			
	対象者	小学生とその保護者	参加人数	99人(7/30:30人、8/3:18人、10/9:51人)			
	事業実施による効果	今までボードゲームを知らなかった多くの子どもが、はじめて知るゲームに熱中し、自分でストーリーを作りゲームを手作りする楽しさを知った。また多くの親子が電子ゲームや他のメディアに無い、ボードゲームの魅力に気づき、子どもの遊びについて再考してもらえたと思う。 参加者からは「毎晩、ゲームの時間を決めて、子どもが作ったゲームで遊んでいます。」とか「買ったゲームとは全然違う。とても大事にしています。友達や家族が自分が作ったゲームで遊んでいるのがとてもうれしいようです。」「クリスマスプレゼントはボードゲームにしたいので、ぜひ貸し出ししてください。」との反響がよせられています。					
	今後の活動の展望	今回購入したゲームの貸し出しを始めました。 学校、子ども会などへの貸し出しありも働きかけていく予定です。					
費用	総事業費	139,657円	助成金額	100,000円			

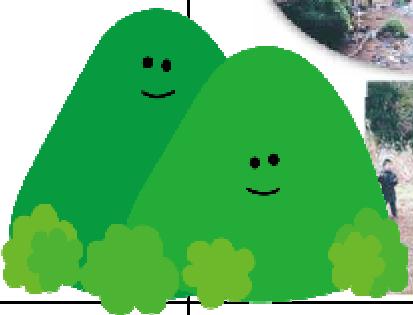
平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績11

事業者	団体名	鳥取朗読の会	代表者	八百谷 和子	
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、わらべ館にて朗読ボランティア ・音訳テープの作成 ・平成19年6月19日『朗読の日朗読会』をわらべ館にて開催 ・平成20、21年3月3日、市民活動促進事業として朗読会『雛がたり』をわらべ館にて実施 ・平成20年3月3日市民活動促進事業として『朗読に親しもう～雛がたり～』をわらべ館にて実施 			
事業目的	助成事業名	 朗読会『雛がたり』 			
	事業目的	<p>①今年も午後と夜の二回開催し、広く市民の方に朗読で「音のお雛様」を楽しんでもらいたい。(昨年は男性の参加者も増え、評価して頂き、活動の広がりを感じている。)</p> <p>②日本の伝統文化である雛祭りの大切さや地域固有の伝統行事・文化に込められた先人の想いをより多くの人に伝え続けたい。</p> <p>③助成していただける最後の年にあたり、会員の朗読技術の現時点での集大成となる上質な朗読会を目指したい。</p>			
事業内容	事業の内容	 			
	入場料無料				
実施場所	わらべ館 イベントホール	実施日	平成22年3月3日		
対象者	朗読に興味を持つ市民、学生	参加人数	約130人		
事業実施による効果	<p>朗読会には約130人のお客様が来場し、3月3日のイベントとして定着した。また、事業が新聞で報道され、広く市民に朗読会の様子が伝わった。さらに、日本海新聞動画サイトで「雛がたり」が配信中で、会と交流のある日本中の朗読爱好者にご覧頂けている。</p> <p>倉吉朗読の会、NHK文化センター朗読教室にも参加してもらったことで、朗読爱好者同士の交流が図れた。</p>				
今後の活動の展望	<p>アンケート結果にも継続希望が多くあることから、来年度以降も工夫して「雛がたり」を続けていくたい。他団体とも協力し、多くの市民に朗読を知って頂く機会を増やすとともに、朗読爱好者の連携を図りたい。</p>				
費用	総事業費	137,306円	助成金額	100,000円	

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績12

事業者	団体名	社団法人 ハーモニイカレッジ	代表者	石井 博史
	団体の主な活動	(1)ポニークラブ活動 (2)ポニーキャンプ活動 (3)ポニー教室活動 (4)不登校生徒の立ち直り支援活動 (5)障がい者、高齢者乗馬活動		(6)学習活動 (7)文化事業 (8)その他、馬とのつき合いを中心とする青少年活動を行い、青少年の健全育成をする目的を達成するために必要な事業
	助成事業名	子どもの心の根っこを育てるポニークラブ事業		
	事業目的	異年齢の子ども達が自然を相手に集団で遊び、お互いを知り、お互いの違いを尊重しあう知恵を学んでいく場を提供していく。 「ホンモノ体験」によって子どもに備わる、冒険心、思いやりの心の回路に「電流」を流し、たくましく、思いやりのある子どもを育てることが、「子ども」を守り、青少年問題を防止していくことにもなる。 NPO法人十人十色との協働により賛同する保護者の輪を広げていく。		
	事業内容	 砂を導入する前の乗馬練習 <div style="position: absolute; left: 520px; top: 360px;">  山砂120m³導入 </div> <div style="position: absolute; left: 520px; top: 420px;">  地面がふかふかになりました！ </div>  砂を導入した後の乗馬練習		
事業内容	 遠足雪遊び		 馬房掃除	
実施場所	空山ポニー牧場		実施日	平成21年5月～平成22年3月
対象者	小中学生		参加人数	732人
事業実施による効果	延べ732人の子ども達が9ヶ月にわたり、計55回の実体験プログラムに参加し、たくましさや思いやりの心を磨き、友情を培うことができた。 馬場に山砂を120立米敷設し、練習時の安全性が高まった。 NPO法人十人十色の協力を得て、親子の賛同者の輪を広げることができた。			
今後の活動の展望	今後も馬をかわいがり、世話をし、気合いを入れて練習をする中で理屈を越えた充実感を味わい、相手を理解する力、思いやり、たくましさ等が育つポニークラブ活動を継続していく。			
費用	総事業費	2, 326, 786円	助成金額	200, 000円

平成21年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績13

事業者	団体名	リサイクルの仲間	代表者	山田 泰彦
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのリサイクル ・混合林の植林森づくり ・自然わんぱく楽校 		
事業内容	助成事業名	自然わんぱく楽校		
	事業目的	子供たちの心豊かに育って貢うための心身の健康増進活動		
事業内容	事業の内容	<p>2009年4月29日 青谷出会い地区</p>  <p>2009年11月29日 ミニ屋久島周辺</p>   <p>竹の子掘り</p>  <p>竹ご飯</p>  <p>バームクーヘン作り</p> 		
	実施場所	青谷町内出会い地区 及びミニ屋久島周辺	実施日	平成21年4月29日(水) 平成21年11月29日(水)
	対象者	児童・親子	参加人数	60人(30人×2回)
事業実施による効果	自然の中で遊ばないことによる子供達の心身発達低下が見られることに危機感を持っていたが、実際に自然に触れ、「都会ではライフラインが途絶えると生きていけないが、田舎では山水・食べ物が自然から調達できる=自然から生かされている」ということに気づき、さらに体を動かしてみんなで遊ぶことによって、学び・遊び・生きる力を養うことができた。			
今後の活動の展望	今回の事業に参加された複数の方から「親子で参加してよかったです」とのお葉書をいただいた。今後はこのような方々の横のネットワークを通じて「子供達が自然の中や外遊びをする大切さ」を広げていきたい。			
費用	総事業費	157, 302円	助成金額	100, 000円